

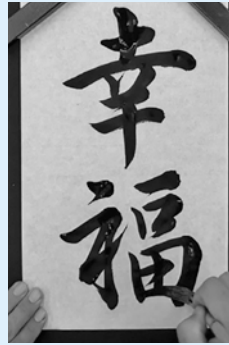
期待すること。 課題と考えること

予算審査特別委員会にて審査しました。質疑、そして議員間で自由討議をして、評価すべきところ、問題点や課題について意見を出し合いました。議員一人ひとりの予算に対する思いをお知らせします。

福祉で幸福度ナンバー1を 持続可能に！

関根 清隆 議員

空き家対策、給食の無償化、高齢者や子育て世代への福祉充実、実に予算を割り当て、移住者が住みたくなる町にすれば人口も増え、幸福度ナンバー1も持続できるのだが……



あなたにとって幸福とは？

自主財源の獲得を早期に

石井 徹 議員



企業誘致の早期実現へ
無印鳩山流通センター

これまでこの議会の財政健全化の提言に対し、起債上限設定を1億5千万円としたことは評価できるが、住民としては何もしない予算と感じている。今年度は今後の自主財源獲得に向けた企業誘致やふるさと納税、そして移住推進策にしっかりと取り組み、早期の実現を果たすべきである。

ふるさと納税を使って 給食の補助事業

中山 明美 議員

令和5年度は一部補助だが、継続し、早期の無償化実現を望む。



がん患者の外見サポート
がん患者のアピランスケア用品購入費助成
医療用ウィッグ等の助成は、治療による外見の変化等の悩みに対処し、支援するもの。社会参加の後押しになる。

身の丈に合った行政運営を！

日坂 和久 議員

借金（町債）依存体質から身の丈に合った行政運営に戻し、無駄のない計画事業・経常事業で、福祉関連の政策を充実させようとする予算である。



鳩山「ならでは」の魅力づくりも……

人が集まる鳩山町にしていこう

小鷹 房義 議員

全体としては良いと思う。町の活性化にどう使うか。辻川を整備し、町外の人を呼び込み、歩いて、見て回る。それを評価したい。



「ちよくま」の隣を流れる辻川再生事業に期待

子育て・お年寄りに、 さらなる予算を

森 利夫 議員

町の借り入れ金を減らすことは望ましいが、子育て支援や、お年寄りの日常生活支援と北部地域活性化事業予算は、しっかりと確保して。



北部地域活性化事業の1つ
辻川改修工事流域

一般会計予算討論

〈賛成〉

子育て支援に力を入れた予算になった。医療的ケア児訪問看護業務など、配慮がなされている。まちづくり応援基金を繰り入れての学校給食費の補助事業は、少子化対策を考えた評価できる。

また、がん患者のアピランスケア用品購入費助成は、社会参加の後押しになる。

（中山）

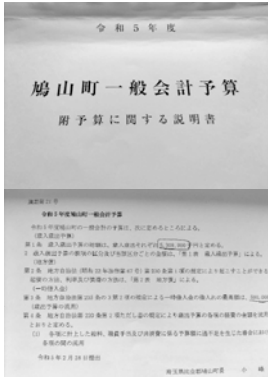
財政健全化を進める中で、可能な事が盛り込まれた堅実な予算。全額ではないが、給食費補助は英断。今後、国や県の施策と併せて無償化を検討してもらいたい。

小さな町だからこそ目の行き届いた施策展開ができる。さらに住民の声が受け止められることを期待する。（野田）



令和5年度 当初予算

ここに注目



埼玉西部クリーンセンター
小川 唯一 議員
稼働の年
町の予算は530900万円。
ゴミを苦に予算。
考えましたね。覚えやすいです。

反対

松浪 健一郎 議員



シルバー人材センター事務所がある多世代活動交流センター

シルバー人材センターの剰余金が3300万円もあるのに、毎年同じ530万の補助。働いているシルバー会員の給与アップや待遇の改善等、適切な予算の執行を望む。町民の税金なのだから、大切に使うて欲しい。



耕作放棄地対策

予算に対して思う事
根岸 富一郎 議員
非常に消極的な予算だと思っている。
財政調整基金等を使って、地方創生事業ができるのではないか。

行政と議員の責務

石井 計次 議員



災害ごみ仮置場

無を問わず最優先事項と考える。誰もがこの町で安心して暮らし続けられる共生のまちづくりのために最大限の努力を。

昨年7月12日の大雨被害を今後の教訓として、住民の生命財産を守る。財源の有

町独自の少子化対策を
大賀 広史 議員
教育費に重点を置いた予算として、一定程度評価するが、他市町がそれぞれ少子化施策を進める中で、町独自の取り組みを始めなければ、取り残されてしまう。幼稚園で給食を実施し、幼小・中学校無償化とすれば注目を集める。



もっと元気の出る給食を!

人と環境にやさしい取り組みを

野田小百合 議員

給食費補助や医療的ケア児訪問看護業務、がん患者アピランスケア用品補助などが盛り込まれた。
また気候変動・環境問題は大きな課題だが、足元からの地道な取り組みであるごみの減量化に取り組むことも評価すること。生ごみキエロ(鶴ヶ島市HPより)



〈反対〉

全体として、前年比マイナス6.5%と消極的だ。
財政調整基金等使って地方創生事業などを行うべきだ。例えば、防犯カメラの設置、耕作放棄地対策、危険木伐採事業、橋りょうの長寿命化計画等の経費など積極的に取り入れ人的に足りなければ職員を増やすべきだ。
(根岸)

北部地域の箱もの建設も概ね完了し、約50億円の負債が残った。返済のため財政は厳しいが、今まで控えられていた福祉政策の充実を期待した。しかし、給食費の無償化はできず、消滅可能性都市と噂されているが、空き家対策、移住推進への予算計上等が満足いくものではなかった。予算の組織配分方式が重要課題への取り組みを阻害している。(関根)

北部地域活性化と焼却施設建設に伴う地元対策の第1期事業に、当初予算を大幅に上回る事業費を費やしてしまった。

借入金(約70億円)の返済を優先しすぎて、移動弱者の日常生活支援や子ども・子育てのための予算が少ない。

少子高齢化対策に、より多くの予算を充たすべきだ。
(森)